

平成21年7月10日

ニッケ グループ

平成21年11月期 第2四半期
(平成20年12月～平成21年5月)

決算説明資料



ニッケ（日本毛織株式会社）

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

連結業績概要

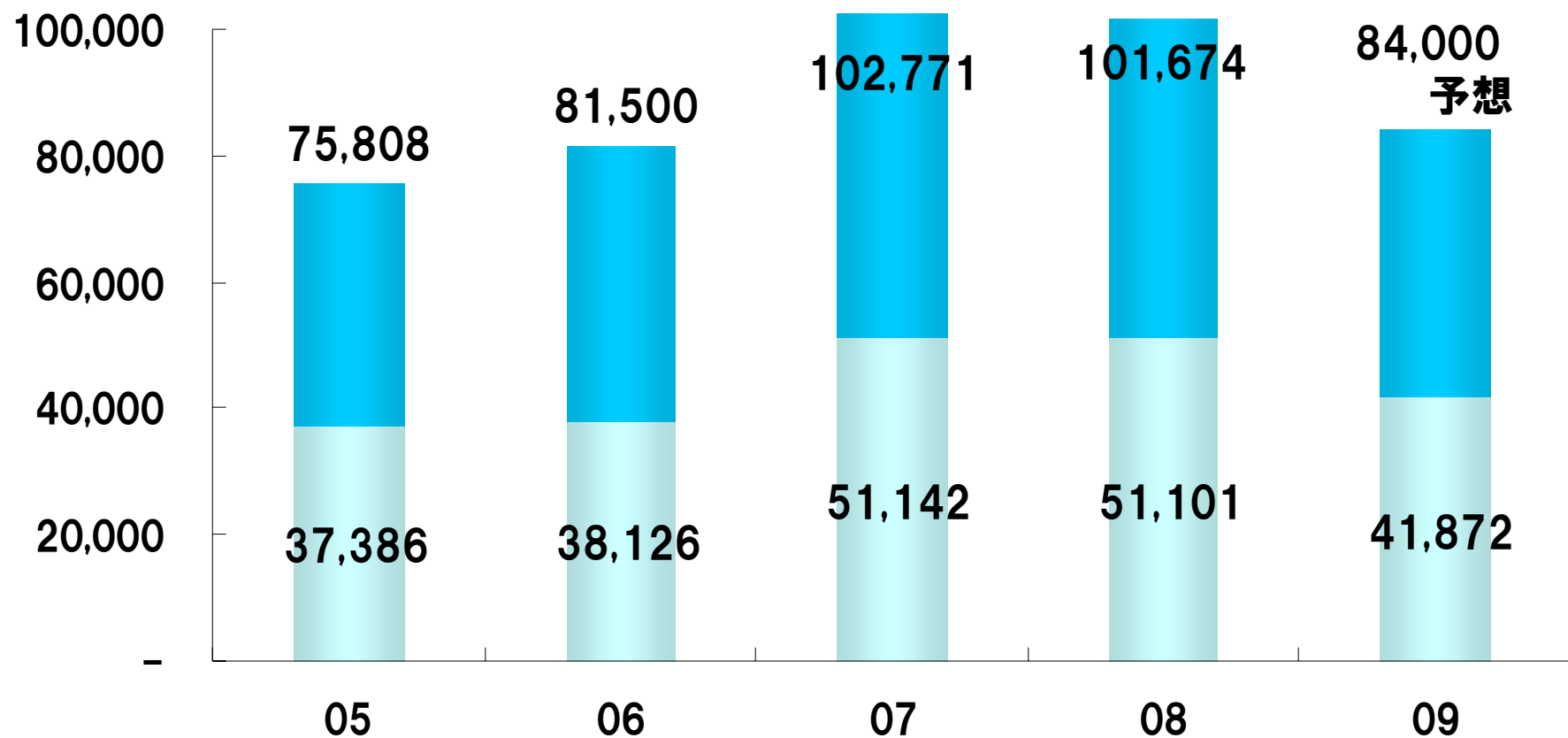
	05年	06年	07年	08年	09年2Q
売上高 (百万円)	75,808	81,500	102,771	101,674	41,872
営業利益 (百万円)	5,862	6,052	6,709	6,984	1,279
経常利益 (百万円)	6,278	6,519	7,004	6,945	906
当期純利益 (百万円)	3,724	4,143	4,380	4,035	-628
1株当たり 当期純利益 (円)	44.86	50.23	53.08	49.22	-7.80

連結業績概要

(百万円)

売上高

通期
2Q

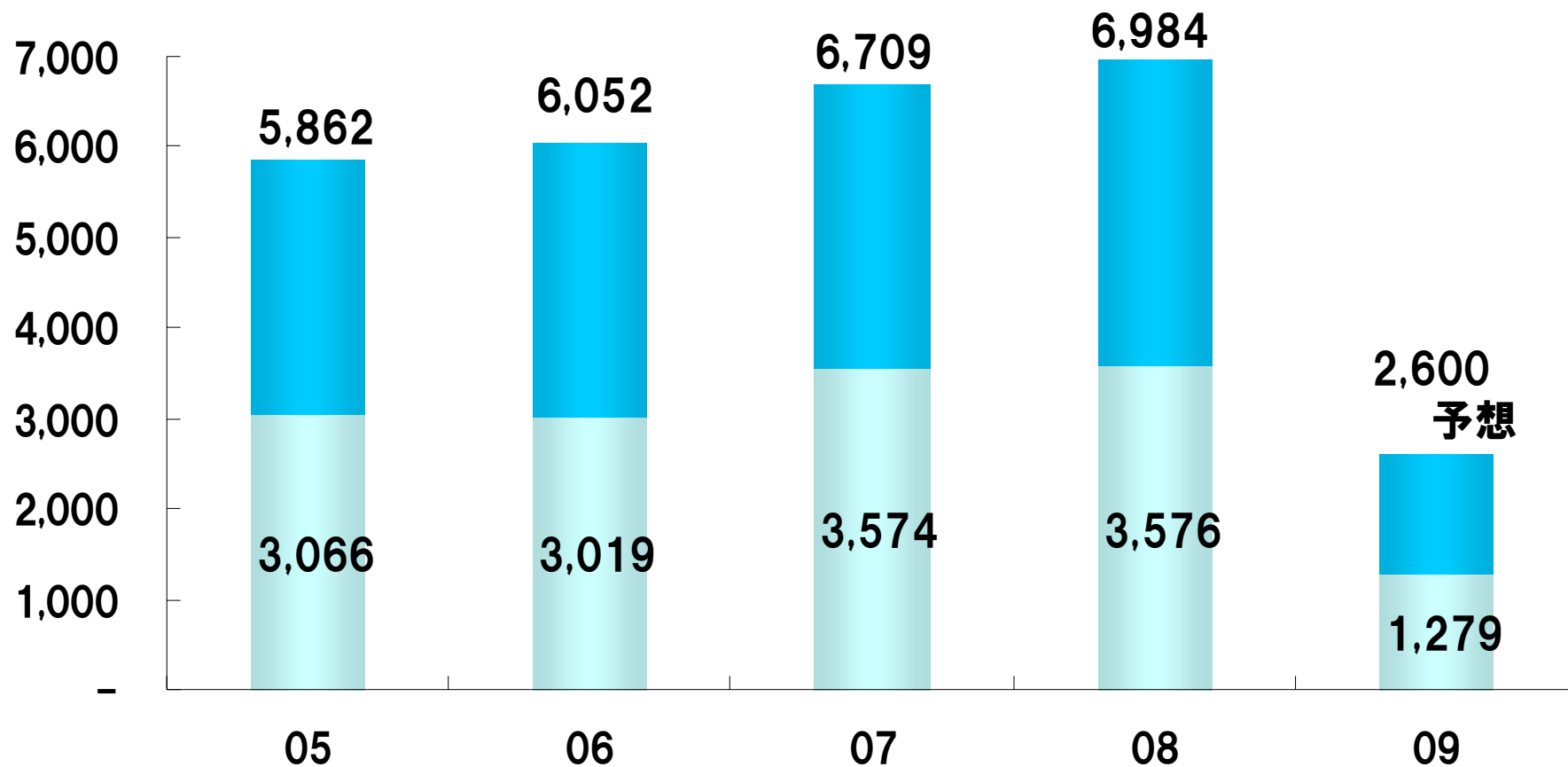


連結業績概要

営業利益

通期
2Q

(百万円)

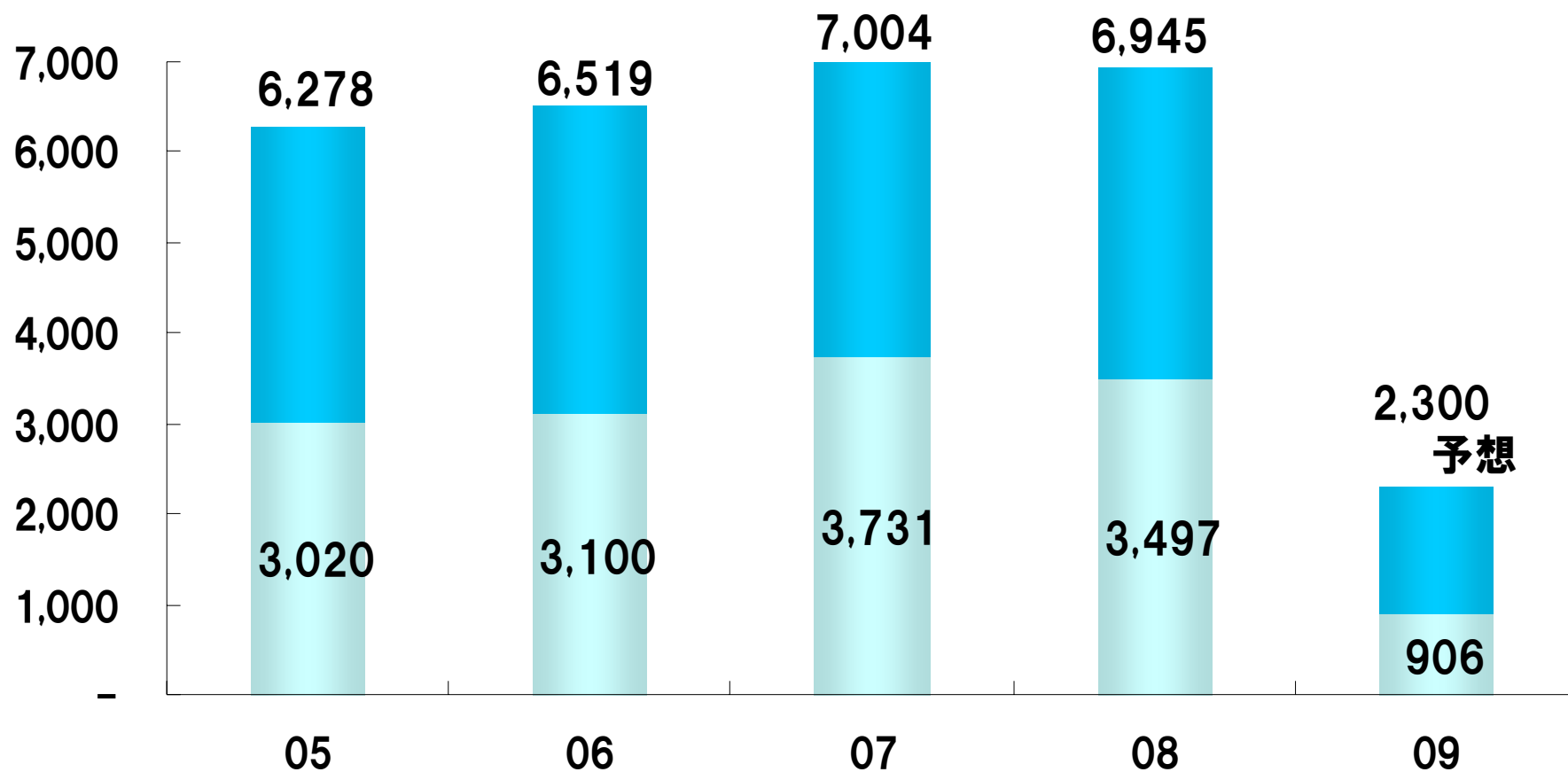


連結業績概要

経常利益

通期
2Q

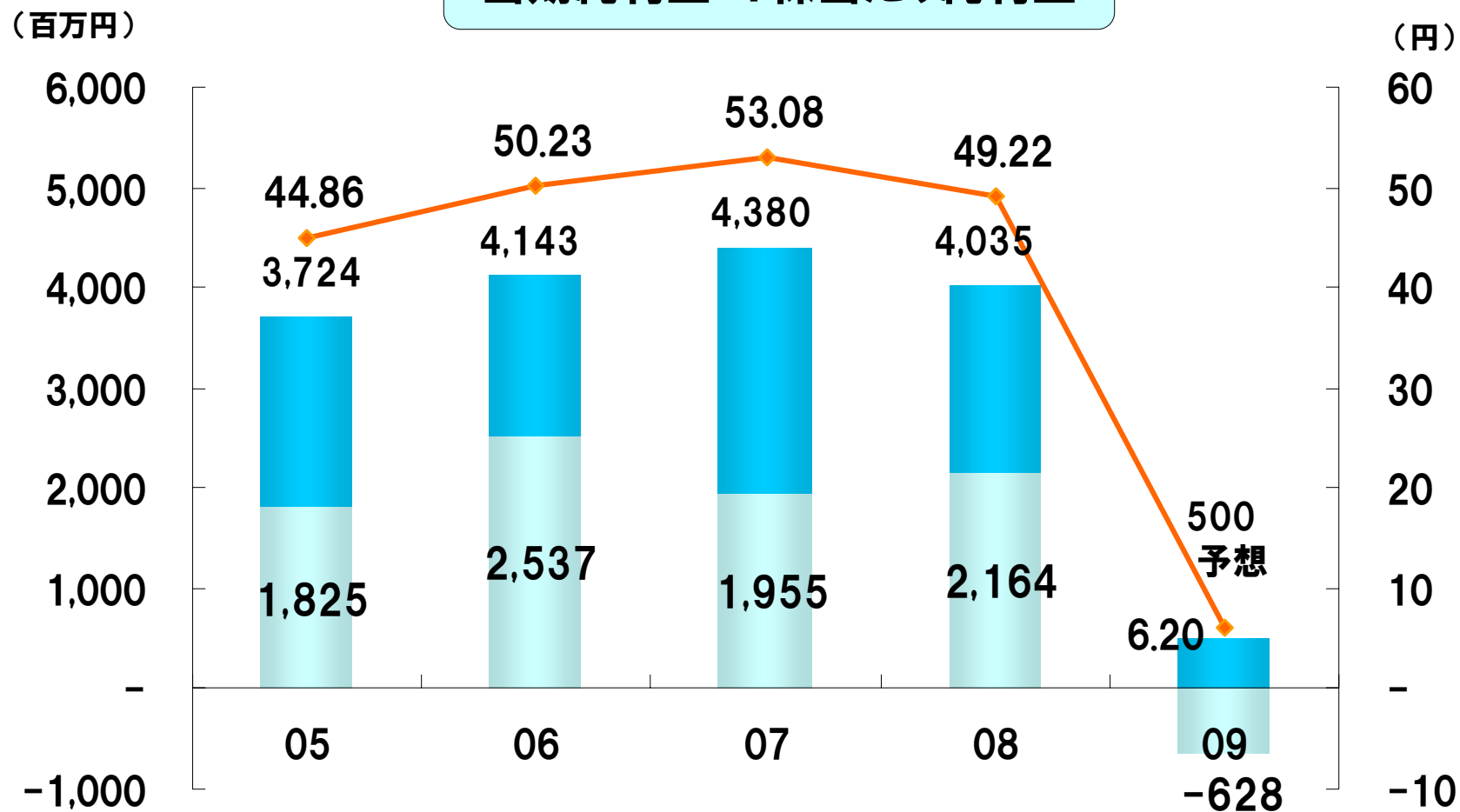
(百万円)



連結業績概要

当期純利益・1株当たり純利益

■ 通期
■ 2Q



連結業績概要

		08年2Q	09年2Q	増 減	
				金 額	%
売上高	(百万円)	51,101	41,872	-9,229	-18.06
営業利益	(百万円)	3,576	1,279	-2,297	-64.23
営業外損益	(百万円)	-79	-373	-294	-
経常利益	(百万円)	3,497	906	-2,591	-74.09
特別損益	(百万円)	17	-1,637	-1,654	-
法人税等	(百万円)	1,331	-108	-1,439	-
少数株主損益	(百万円)	-18	-6	+12	-
当期純利益	(百万円)	2,164	-628	-2,792	-129.02
1株当たり 当期純利益	(円)	26.28	-7.80	-34.08	-

◆売上高

急激な景況感の悪化に伴い個人消費や企業の投資意欲が減退し、各事業とも販売が落ち込む。SCリニューアル期間中の専門店休業も影響。

◆営業利益

コスト削減の取組みを進めるも、販売の落ち込みから減益となる。

◆当期純利益

たな卸資産評価損やSCリニューアル費用を特別損失に計上したことにより純損失となる。

連結業績概要

	05年	06年	07年	08年	09年2Q
総資産 (百万円)	133,878	138,718	137,969	126,642	126,237
純資産 (百万円)	76,187	78,115	77,825	71,538	70,460
1株当たり 純資産 (円)	923.24	929.77	926.56	870.77	861.08
自己資本 比率 (%)	56.9	55.3	55.4	55.7	55.0
ROE 自己資本利益率 (%)	5.3	5.4	5.7	5.5	-0.9

連結業績概要

	08年	09年2Q	増減
総資産 (百万円)	126,642	126,237	-405
純資産 (百万円)	71,538	70,460	-1,078
1株当たり純資産 (円)	870.77	861.08	-9.69

◆総資産
総資産はほぼ前期末並み。

◆純資産
四半期純損失6億円計上などにより、10億円減少。

キャッシュ・フロー

	05年	06年	07年	08年	09年2Q
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	6,460	2,100	3,252	7,278	1,856
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	-5,188	362	-81	-3,735	-2,110
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	-1,449	-5,846	-4,340	-3,935	3,445
現金及び現金 同等物期末残高 (百万円)	14,942	11,935	11,112	10,698	13,815

キャッシュ・フロー

	08年2Q (百万円)	09年2Q (百万円)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,060	1,856
投資活動による キャッシュ・フロー	-1,029	-2,110
財務活動による キャッシュ・フロー	2,276	3,445
現金及び現金 同等物期末残高	14,418	13,815

◆営業活動によるキャッシュ・フロー

純利益の減少や仕入債務の減少による支出が増加した一方、売上債権・たな卸資産の減少による収入の増加により、ほぼ前年同期並みとなる。

◆投資活動によるキャッシュ・フロー

SCリニューアルに伴う固定資産の取得により支出が増加。

◆財務活動によるキャッシュ・フロー

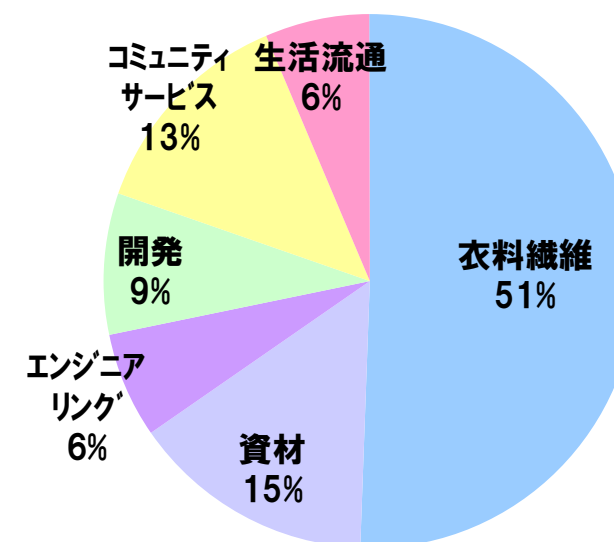
長期借入金の増加による収入が増加。

セグメント別業績の概要

セグメント別売上高

セグメント	08年2Q (百万円)	09年2Q (百万円)	増 減	
			金 額	%
衣料繊維	25,625	21,167	-4,458	-17.40
資材	8,762	6,128	-2,634	-30.06
エンジニアリング	4,032	2,680	-1,352	-33.53
開発	3,611	3,635	+24	+0.66
コミュニティサービス	6,029	5,570	-459	-7.61
生活流通	3,038	2,689	-349	-11.49
売上高計	51,101	41,872	-9,229	-18.06

09年2Qセグメント別売上高比率



※ 08年2Qの数値は、前期実績を当期のセグメント区分により集計したものです。

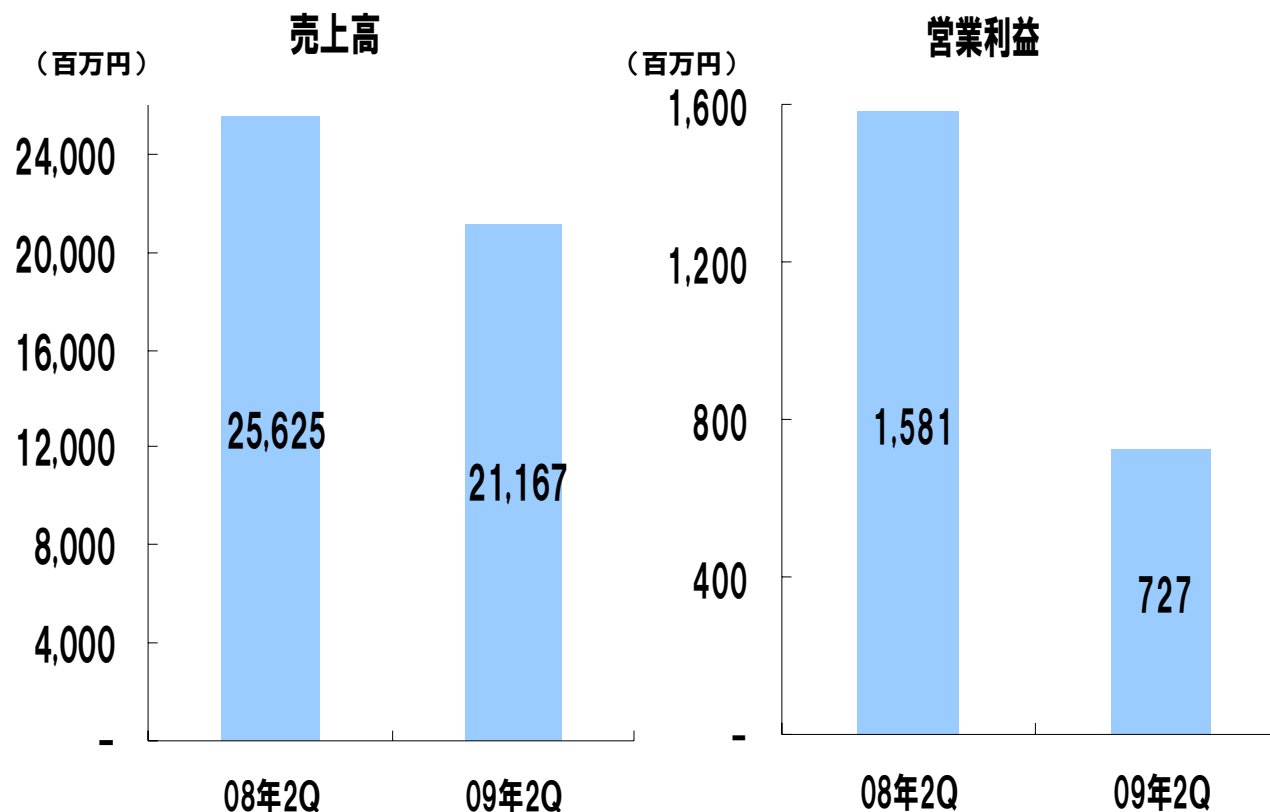
セグメント別業績の概要**セグメント別営業利益**

セグメント	08年2Q (百万円)	09年2Q (百万円)	増 減	
			金 額	%
衣料繊維	1,581	727	-854	-54.02
資材	499	-64	-563	-112.83
エンジニアリング	323	-217	-540	-167.18
開発	1,559	1,316	-243	-15.59
コミュニティサービス	290	162	-128	-44.14
生活流通	-226	-7	+219	-
グループ本社	-451	-638	-187	-
営業利益計	3,576	1,279	-2,297	-64.23

※ 08年2Qの数値は、前期実績を当期のセグメント区分により集計したものです。

衣料繊維事業の概要

<事業内容> 毛糸・毛織物・縫製品等の繊維製品の製造・販売



◆売上高

売糸は産地需要の低迷による販売量減と単価下落により減収。

学校向け制服素材はモデルチェンジ校の減少と流通段階での在庫調整により微減収。

官公庁向け製服用素材は官公庁の予算削減の影響を受け減収。

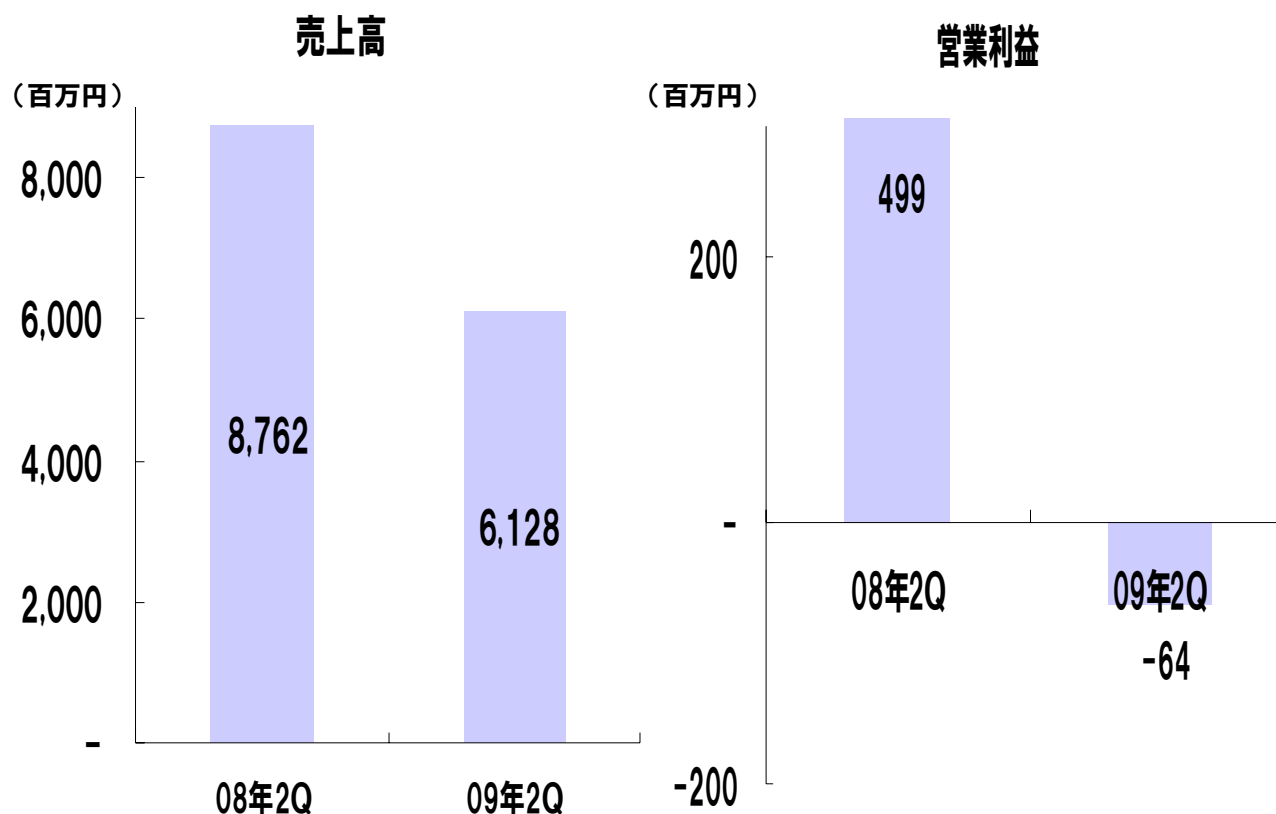
一般企業向け制服素材は企業業績の悪化から受注件数が減少し減収。

メンズ・レディース向け素材・衣料製品は市場の冷え込みが著しく大幅減収。

海外向け事業は、採算性を重視した物件対応を進め減収。

資材事業の概要

＜事業内容＞毛布・カーペット・不織布・フェルト等の繊維製品、
テニス及びバドミントンガット等・釣糸・産業資材の製造・販売



◆売上高

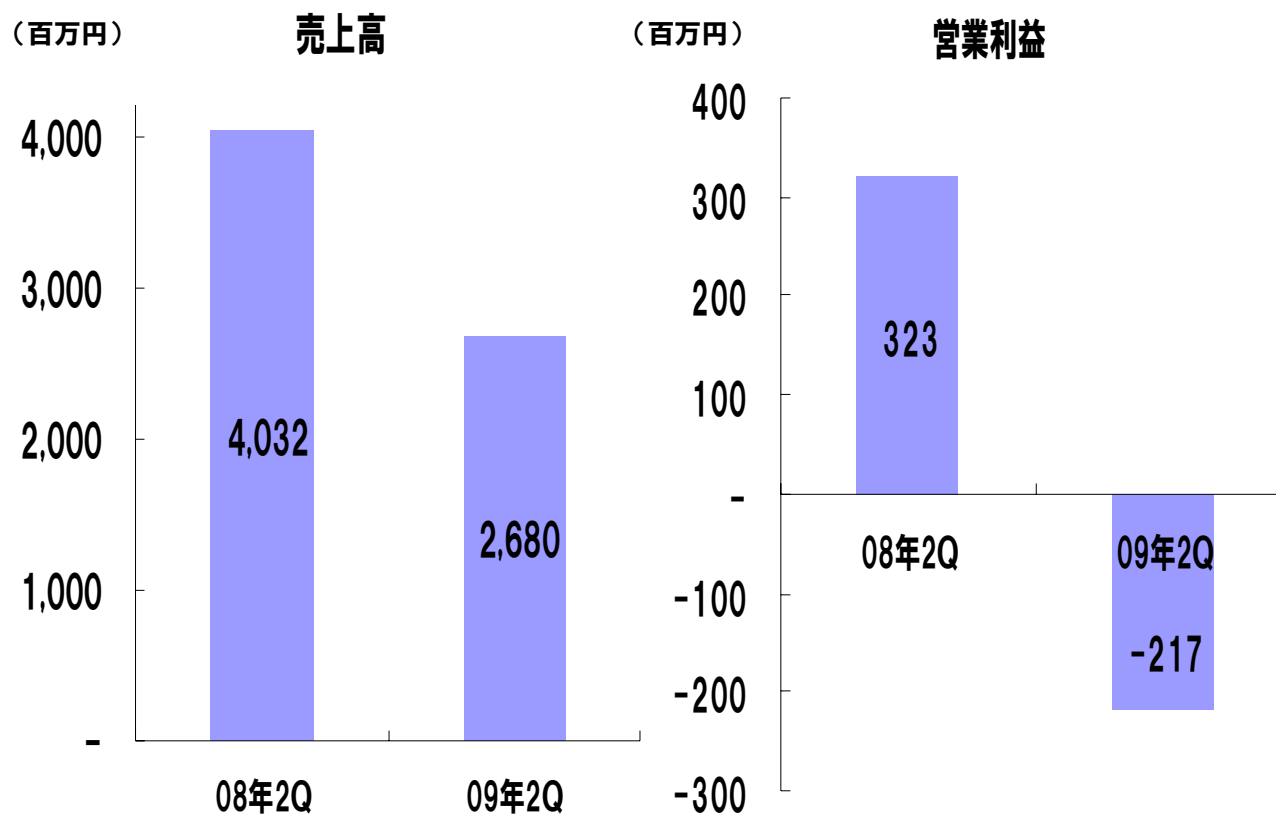
産業用資材は、自動車・家電・OA機器をはじめとした全分野で昨年後半から需要減退が続き、糸・紐・フェルト・不織布ともに減収。

カーペットは業務用途・家庭用途向けともに景況悪化が影響し減収。

生活用資材のうち、ラケットスポーツ用品は国内販売は好調に推移したが海外市場での景況悪化や円高による需要減退から減収、釣糸は国内・輸出とも減収。

エンジニアリング事業の概要

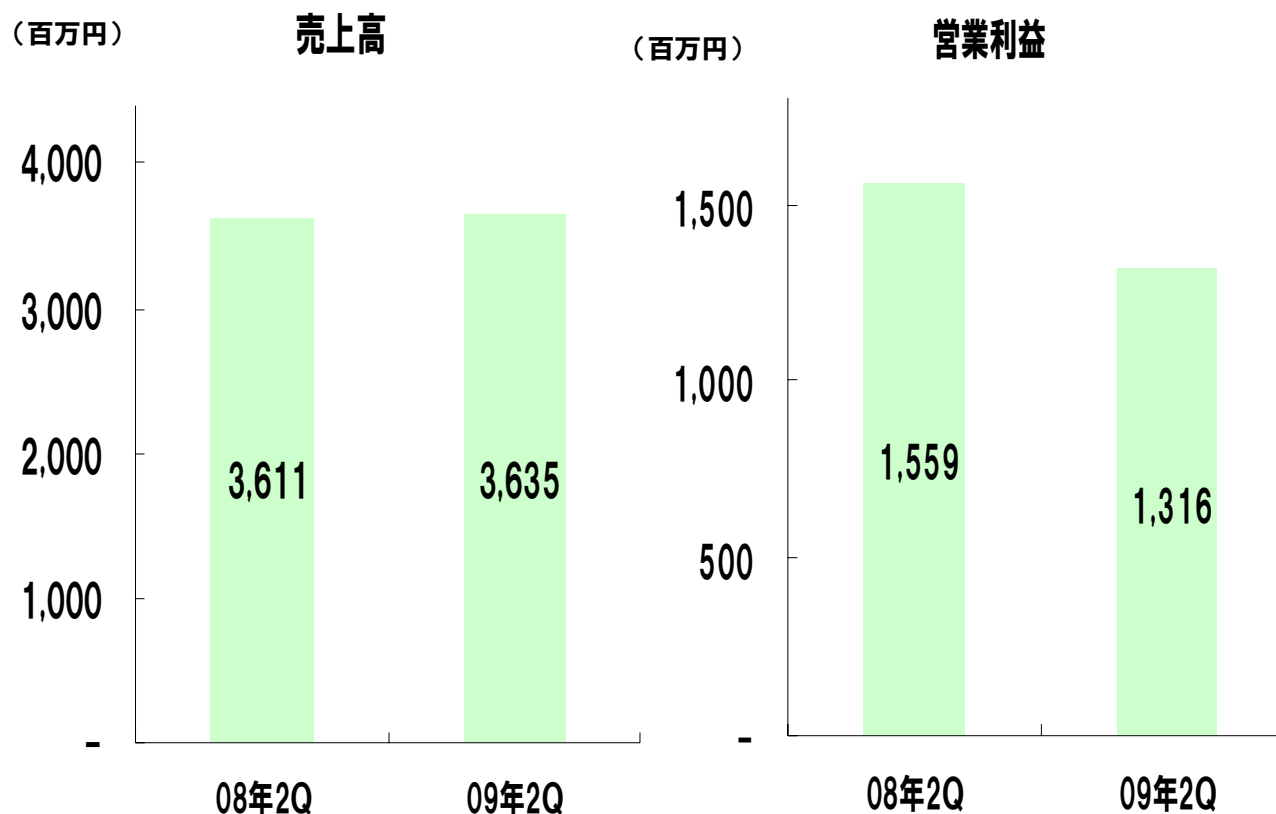
**<事業内容> 産業用機械の製造・販売、電子・電気計測器及び
制御装置の 製造・販売**



◆売上高
産業向け機械、電子・電気計測器分野のいずれも景況悪化の影響を受け、企業設備投資の落ち込みから大幅減収。

開発事業の概要

<事業内容>ショッピングセンターの賃貸事業、 不動産の建設・販売・賃貸



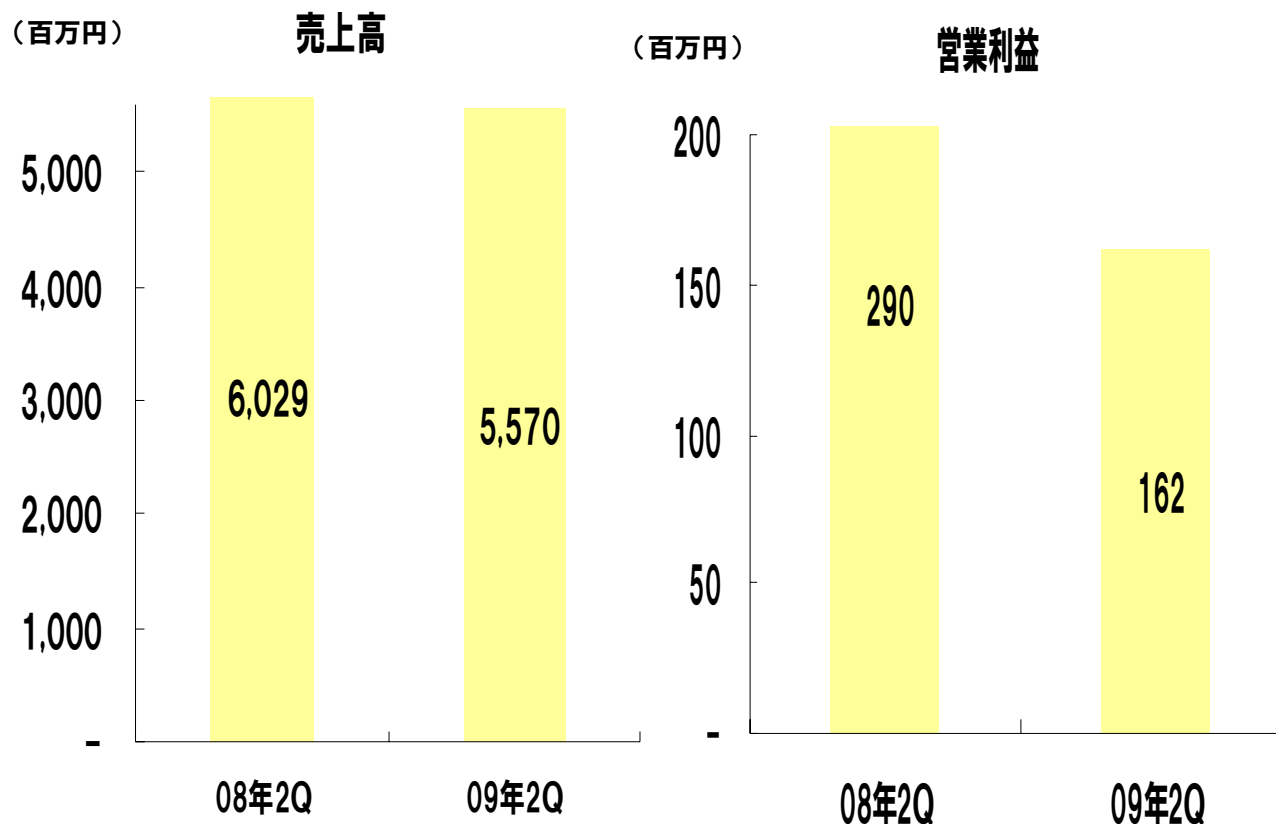
◆売上高

商業施設運営事業は「ニッケコルトンプラザ」が5月グランドオープン以後順調に売上を伸ばすも、リニューアル期間中の専門店休業の影響で減収、「ニッケパークタウン」も新型インフルエンザの影響を受け減収。

不動産事業は景況悪化からテナントの撤退や賃料引下げ要請が増加したものの、住宅用地の一部売却などにより増収。

コミュニティサービス事業の概要

**<事業内容>ゴルフ・テニス・乗馬等のスポーツ事業、
携帯電話の販売、介護サービス事業**



◆売上高

スポーツ事業はインドアテニススクールにおいて新規入会者の獲得が難しく、ゴルフコース・練習場も入場者減・客単価低下から減収。

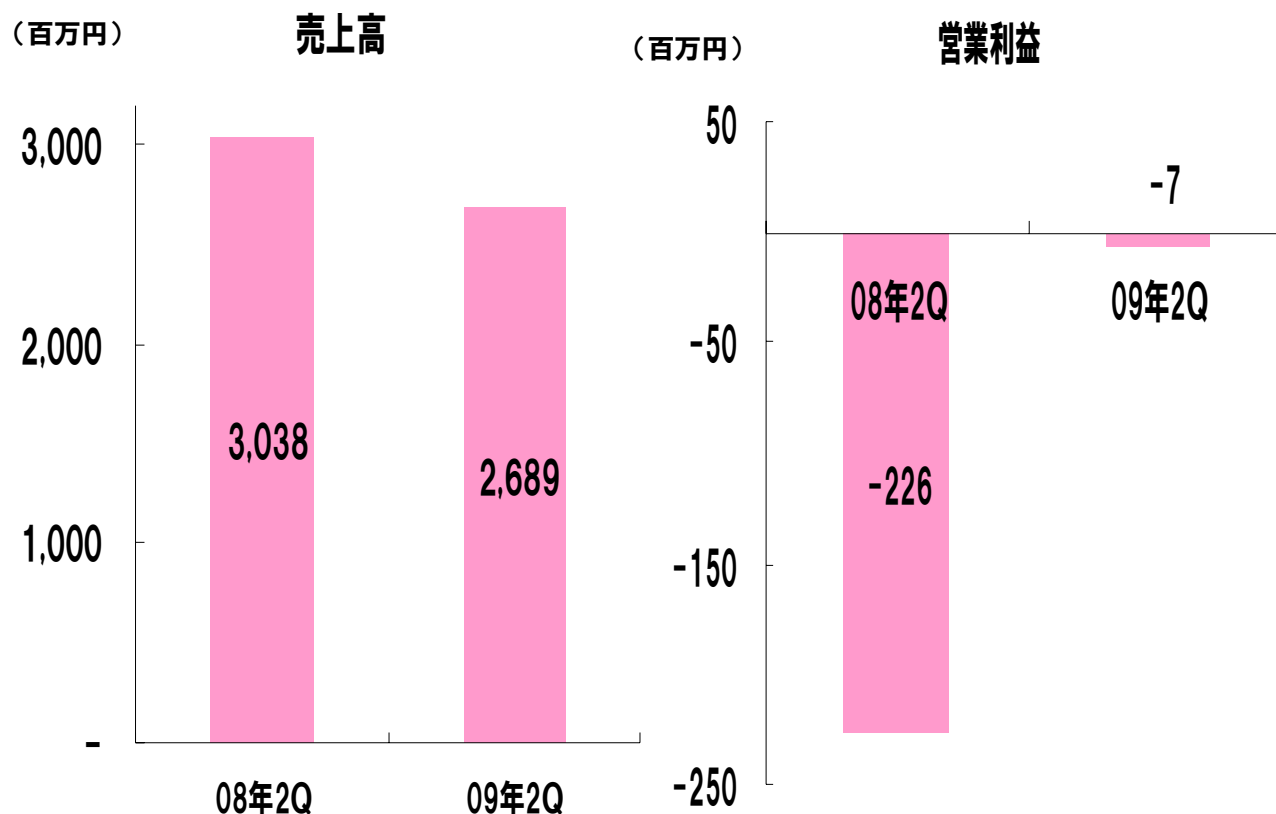
介護事業はデイサービス・小規模居宅介護事業ともに利用者が順調に伸び増収。

アミューズメント事業は個人消費の冷え込みが厳しく減収。

携帯電話販売事業は買替えサイクルの長期化、端末販売の低迷から減収。

生活流通事業の概要

<事業内容> 寝装品・馬具・乗馬・ペット用品・ペットフード の製造・販売



◆売上高

寝装品は新規ルートの開拓や新商品の企画に努めるも市場の低迷から減収。

手編毛糸は春夏物が好調に推移したが、前半が低調であったため減収。

馬具・乗馬用品は海外市場が冷え込み、国内市場も低調に推移したため減収、ペットフードは消費者の低価格志向から減収。

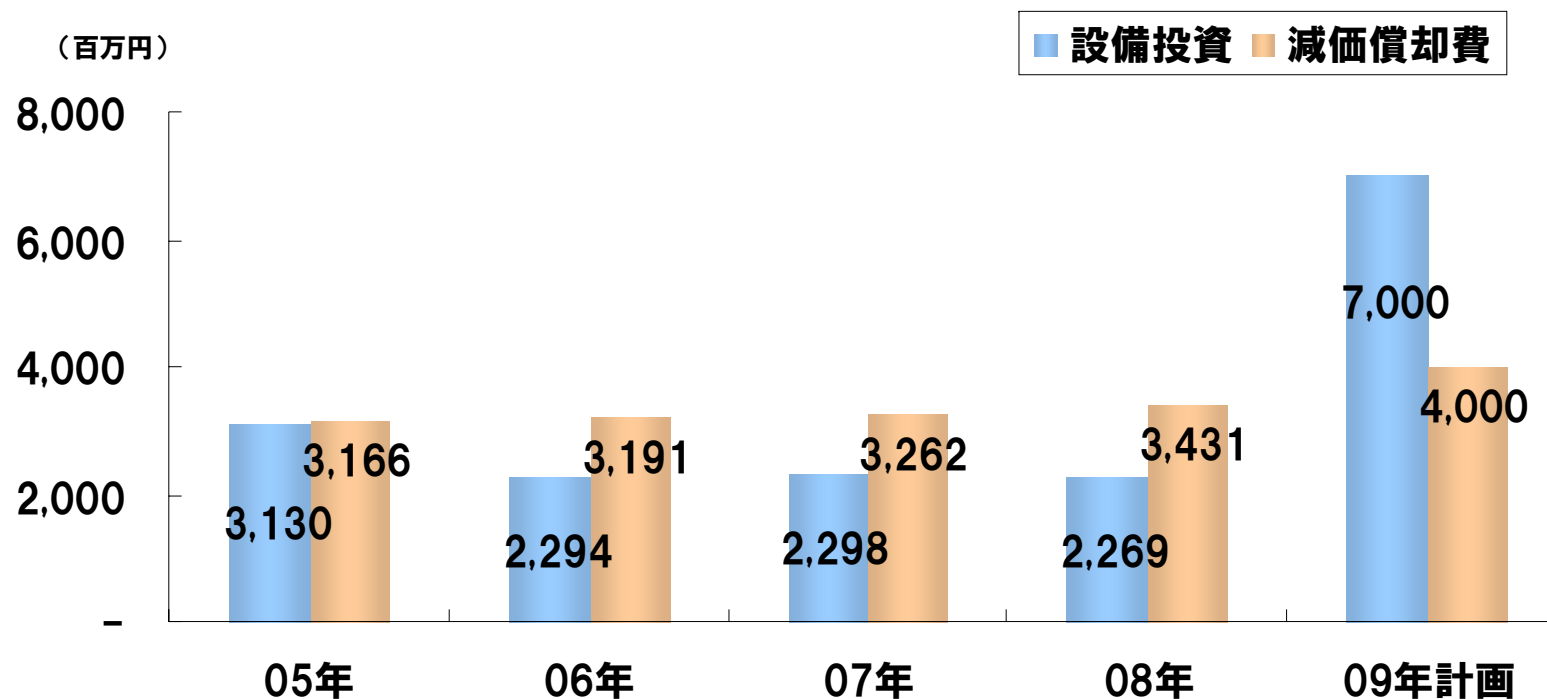
業績予想

		07年	08年	09年予想	増減
売上高	(百万円)	102,771	101,674	84,000	-17,674
営業利益	(百万円)	6,709	6,984	2,600	-4,384
経常利益	(百万円)	7,004	6,945	2,300	-4,645
当期純利益	(百万円)	4,380	4,035	500	-3,535
1株当たり 当期純利益	(円)	53.08	49.22	6.20	-43.02
配当	(円/株)	17	18	18	-

セグメント別業績予想

セグメント	09年予想	
	売上高(百万円)	営業利益(百万円)
衣料繊維	42,000	1,530
資材	14,000	70
エンジニアリング	4,200	-540
開発	8,000	2,700
コミュニティサービス	10,500	320
生活流通	5,300	40
グループ本社	-	-1,520
売上高計	84,000	2,600

設備投資・減価償却費



諸施策の実行

世界的な金融危機から経営環境は厳しさを増している

当社グループは「ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)」に基づき、経営の基本戦略が共通する6つの事業領域を編成し、以下の施策を実行していく

<衣料繊維事業>

強みである原料から織物までの一貫生産による品質と技術を更に強化し、高品質・高付加価値・高機能商品の提供と積極的な海外展開を推進する。

<資材事業>

裾野の広い産業資材分野での成長を目指すとともに、積極的なM&A戦略により、事業規模の拡大を目指す。

諸施策の実行

<エンジニアリング事業>

設計能力と商品開発の強化、積極的なM&Aを推進し、事業規模拡大と収益の安定化を目指す。

<開発事業>

グループ全体の資産の有効活用と価値向上を追求し、長期的な視点での「街作り」開発を推進することにより、資産価値の向上を図る。

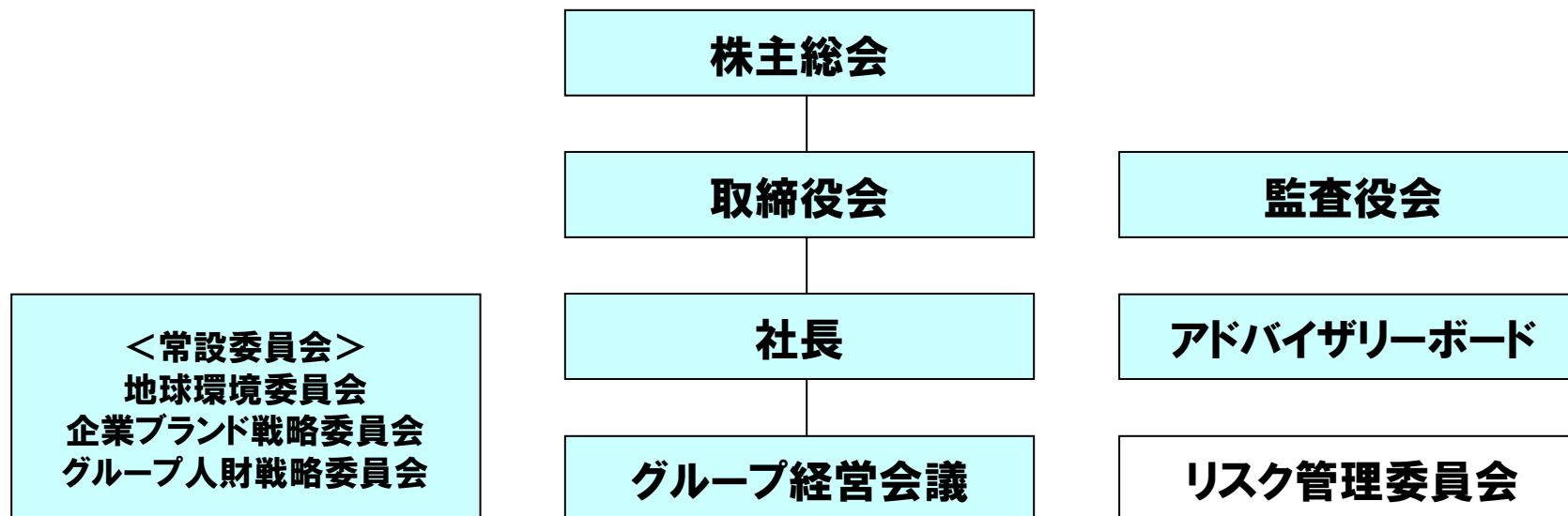
<コミュニティサービス事業>

“コミュニティ=地域社会”に貢献する独自の「ニッケのサービス」を創出・提供することにより、本格的なサービス事業の展開を目指す。

<生活流通事業>

戦略的ブランディングと生活文化を創造する商材開発によりその価値を高め、規模と収益の拡大を目指す。

コーポレートガバナンス



2001年 取締役会議長を代表権のない取締役に

2005年 役員退職慰労金制度を廃止

2003年 取締役の任期を1年に短縮

2006年 執行役員制度を導入

2004年 アドバイザリーボードを設置

2007年 社外取締役2名に増員

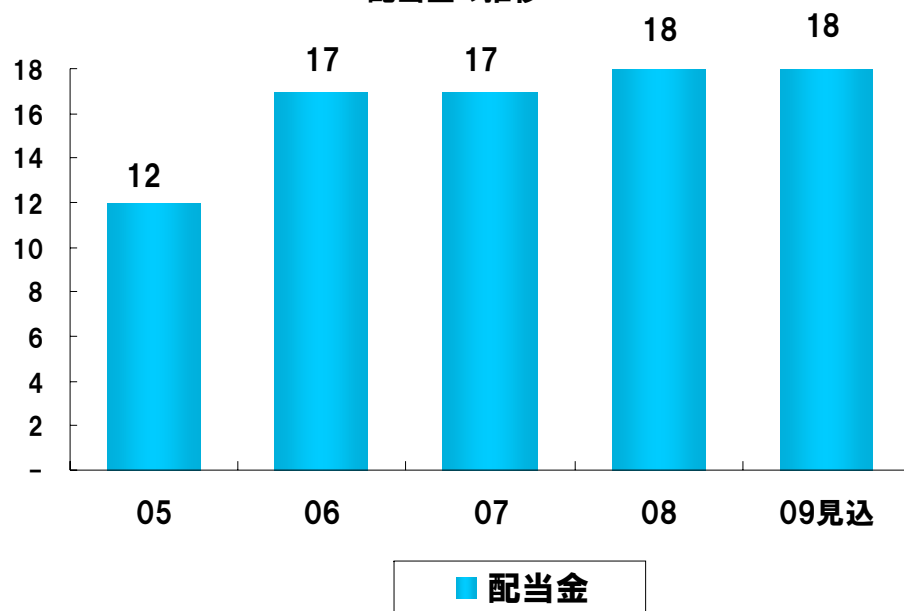
2009年 社外取締役3名に増員

株主還元方針

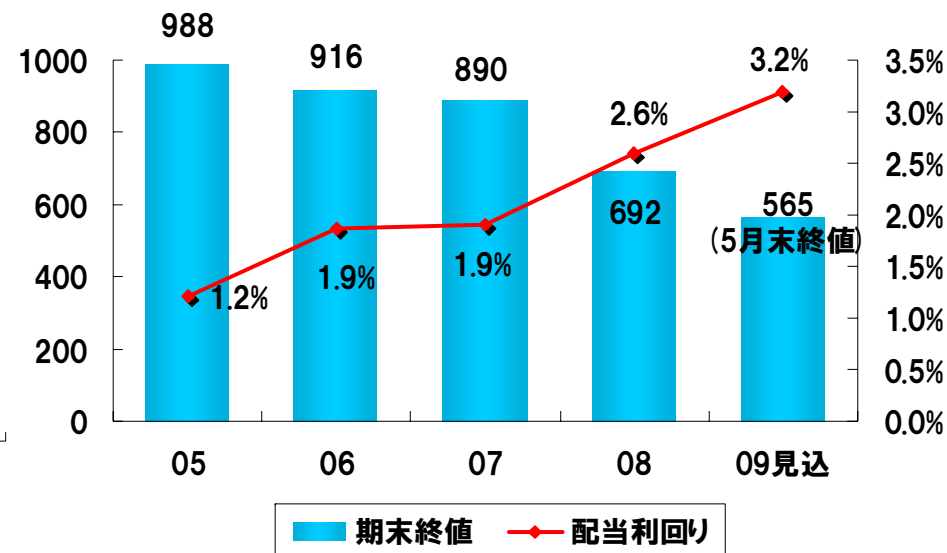
利益水準に応じて持続的に配当水準を引き上げていく。

今期については、引き続き年間1株当たり18円を目標とする。

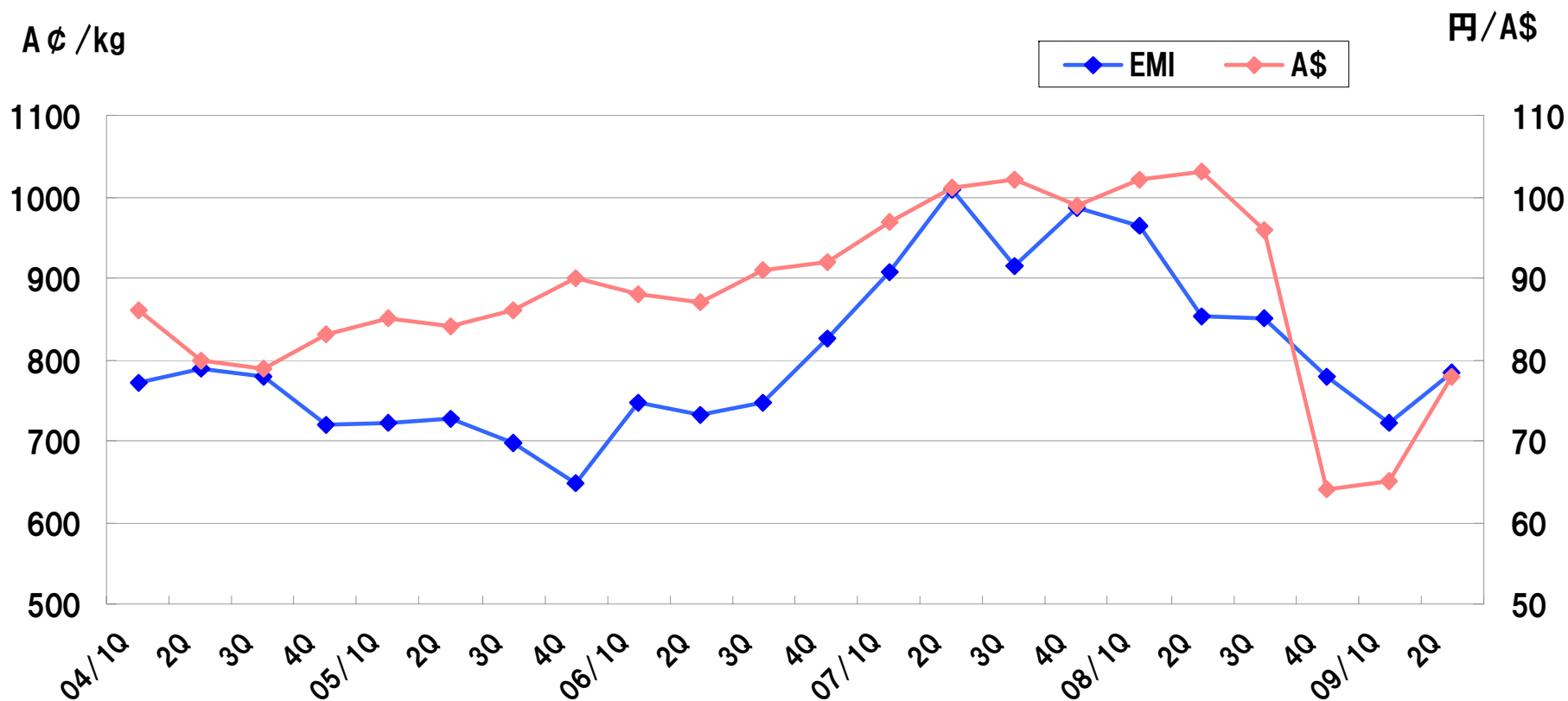
配当金の推移



株価・配当利回り



(参考) 羊毛相場・為替相場の推移





「日本毛織」から「ニッケ」へ

繊維主体の会社から事業複合体への変革を進める中で、
守るべき歴史を忘れないように「日本毛織」の正式社名は残し、
変革の中での遠心力と求心力を失わないように
グループ全体のシンボルとして、
通称社名「ニッケ(NIKKE)」とします。